

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	理工学部	身分	教授
氏名	山西 博之		
NAME	YAMANISHI, Hiroyuki		

## 1. 研究課題

（和文）大学生の英語ライティングにおける協働性と相同性：知見の統合と分析システムの整備

（英文） Collaborative and Homologous Aspects of University Students' English Writing

## 2. 研究期間

2019・2020・2021 年度 ※2021 年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により 1 年間延長

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究課題では、大学生が産出する英語ライティングにおける、協働性（学習者同士の「対等」「対話」「創造」「プロセス」「互惠性」を内包する概念）と相同性（「思考の過程」としての作文プロセスと「成果物」としての作文プロダクトの間の言語構造等の構造的並行性、あるいは同一テーマの課題における「思考言語」としての日本語と「目標言語」である英語でのライティングにおける構造的並行性）の分析を行うため、データ収集・データ収集のためのシステム開発・データ分析を行った。

1年目の2019年度は、開発したWebシステムによって、上記の分析を行うための新規のデータ収集を進めた。具体的には、中央大学理工学部の英語ライティング科目を担当しながら、学生からWebシステムを通じたライティングデータの提供を受けることで、これまで収集してきたものとは異なる観点のデータ（ライティングテーマ、学生のバックグラウンド等）を得る事ができた。

2年目の2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で新規のデータ収集が計画通りに進まなかったため、2021年度に研究期間を延長し、継続してデータ収集を行うと同時に上記観点からのデータの分析を進めた。得られた成果は、研究期間終了後に学術誌にて公開する予定である。

（英文）

In this research project, I developed a system for data collection and data analysis in order to analyze collaboration and homology in English writing produced by university students. In AY 2019, I proceeded to collect new data for the above analysis by means of the web system developed. In AY 2020 and 2021, I continued data collection, and I analyzed data from the above perspective.